

庄原市できく新規就農者3名の規模拡大進む

【平成29年10月6日掲載】

庄原市では、平成27年に3名が認定新規就農者となり、きく栽培を開始しています。

東城菊組合(森田一生(もりたかずおみ)組合長, 組合員16名)に加入した長田健大(ながたけんた)さん(24歳)と渡邊諒(わたなべりょう)さん(24歳)は、ベテラン組合員から栽培技術を教わりながら経営規模の拡大に取り組んでいます。長田さんは10a(平成27年)から40a(平成29年)まで拡大し、渡邊さんは30a(平成27年)から50a(平成29年)まで拡大して栽培を行っています。2名とも将来は1haの栽培を目指しています。

西城町花卉生産組合(可部潤(かべじゅん)組合長, 組合員6名)に加入した可部成彬(かべしげあき)さん(24歳)は親の経営を引き継ぐ形で就農しています。昨年建設したハウス4棟(7a)では今年から出荷を開始しており、栽培面積は75a(平成27年)か



【出荷調製作業中の渡邊さん】

ら97a(平成29年)まで拡大して栽培を行っています。可部さんは「家族だけで今の面積を栽培するのは大変だが、作型の検討や品種の選定を進めて品質を高めていきたい。」と話されました。



【収穫作業中の長田さん】



【収穫作業中の可部さん】

情報提供元

北部農業技術指導所